

レインボーステッカーの掲示について

寺院関係者の皆様へ

今回作成したレインボーステッカーは、レインボーがそれぞれの色で輝いているように、それぞれの人がそれぞれの個性で輝き、幸せに生きることを仏教が願っていることを発信する目的があります。仏教の『一切の生きとし生けるものは皆幸せであれ』という平等の教えを心に思うだけでなく、思いをかたちにする具体的な取り組みです。

葬儀や戒名、お墓を扱う寺院関係者が多様性について理解を示すことは必要不可欠なことです。例えばLGBTQの当事者が、自分のセクシュアリティについて家族やお寺にカミングアウトできず、自分で認識している性と違う戒名を付けられたり、同性のパートナーがいることを誰にも打ち明けられず、亡くなっても大切な人の葬儀に参列できなかつたり、一緒にお墓に入れないという現状があります。そのようなことにならないように、寺院関係者が日頃から、全ての人がありのままの自分でいられる環境を作っていくことが大切です。



レインボーステッカーを寺院の門や掲示板に掲示して仏教が多種多様なあり方を尊重しており、その声を聞き、わからないことについては共に学び、共に考え、共に歩む姿勢があるということをお寺に来られた方をはじめ、社会に発信し、伝えたいと思います。

ステッカーを掲示することで、お寺にご相談に来られる方があるかもしれませんが、その場合は相談者の秘密を守っていただくようお願いいたします。例えばLGBTQ当事者であることを打ち明けられた際に、そのことを他の人に話してしまうアウティングなどは謹んでいただけるようお願いいたします。また理解のない言葉で傷つけてしまうことのないよう、LGBTQについての正しい知識と学び続けるお気持ちをお持ちの方に対応していただきたく存じます。多様性についての正しい理解を深めるために、全日本仏教会では引き続き取り組みを進めていきます。ご理解とお気持ちのあるご寺院のご協力をお願いいたします。

